

左右両用ガイドリングカテーテルによる
急性心筋梗塞に対する冠動脈インターベンションの時間短縮の検討
—多施設共同後ろ向き観察研究・2群間比較研究—

当院研究責任者（所属）	足立太一（循環器内科 医長）
本研究の代表者（所属）	伊莉裕二（東海大学医学部内科学系循環器内科学教授）
本研究の目的	左右冠動脈いずれにも挿入可能な左右両用カテーテルは交換時間を短縮できる。動脈穿刺から冠動脈再灌流までの時間を、多施設から情報収集して解析し、左右両用カテーテルは心筋梗塞再灌流時間短縮に有用であるとの仮説を証明するのが本研究の目的である。
調査データ 該当期間	2014年1月1日から2018年1月14日までの症例データを調査の対象として収集・解析し、2019年に解析結果を公表予定である。
研究の方法 （使用する試料等）	上記期間内にST上昇型急性心筋梗塞の診断で当院にてPrimary PCIによる治療を受けた患者さんが対象で、全体で1,200例を予定している。 電子カルテに記載された診療記録や検査データを利用する
試料/情報の 他の研究機関への提供	多施設共同研究であり、研究代表者である東海大学に登録患者データを提供する
個人情報の取り扱い	患者さんを特定できないように、参加各施設において登録番号を割り当て、データファイル入力の際は登録番号で入力する。個人情報漏えいの危険性は極めて少ない。
本研究の資金源 （利益相反）	テルモ株式会社、日本メドトロニック株式会社、朝日インテック株式会社、株式会社グッドマンとの契約に基づく資金提供により実施される。
お問い合わせ先	電話：028-622-5241(代) 当院研究責任者：足立太一（循環器内科 医長）
備考	